



平成26年度集団回収実績

平成26年は、全回収量が約13,885トン、申請団体数が452団体となり、昨年より6団体増加しました。しかし、回収量は前年と比較して、786トン減少しております。個別品目では、全品目において回収量が減少しております。資源の有効な利用の促進に今後ともご協力ください。

対象品目	平成25年度	平成26年度	伸率
新聞	9039	8538	△5.5
雑誌	2476	2356	△4.9
ダンボール	1995	1931	△3.2
古布	818	762	△6.8
紙パック	172	133	△22.6
アルミ缶	158	156	△1.4
リターナブルびん	13	10	△25.5
合計	14671	13885	△5.4
申請団体数	446	452	

(回収量の単位はトン、小数点第1位を四捨五入)



奨励金の申請について

申請時期 1月～6月回収分 ⇒ 7月中旬に
7月～12月回収分 ⇒ 翌年1月中旬に

お知らせとお願い
～◇ 申請時にご確認ください! ◇～

～東大阪市再生資源集団回収奨励金交付申請書～

- ① 「実施団体名」は登録の際にご記入いただいた名称を！（漢字・ひらがなの表記間違いがありません。）
- ② 代表者の印鑑は鮮明に！捺印も押してください。
- ③ 奨励金の金額も計算して記入してください。
- ④ 振込口座は正確に！特に口座名義に団体名が入っている場合は、すべて記入してください。フリガナも必ず必要です。
- ⑤ 口座名義が代表者と異なる場合や、個人名義のものは委任状が必要です。

～集団回収事業実施内訳明細書～

- ① 仕切伝票ごとに回収量を転記してください。仕切伝票の枚数分だけ、段を変えてください。
- ② 回収量の合計を東大阪市再生資源集団回収奨励金交付申請書（様式2）に転記してください。
～再生資源集団回収仕切伝票～
- ① 団体控、業者控、市提出用の3枚複写になっています（ただし、旧様式は4枚複写）。申請の際は市提出用を添付してください。
- ② 業者印漏れがないか確認を！印鑑がもれている場合は受付できません。

前回は、市内集団回収登録団体が回収方法を工夫して実施している様子や古紙・古布の処理の流れを掲載しました。今回は、活動団体の取材と様々な古紙をリサイクルしている工場を見学しました。たくさんの古紙が溶解されている様子はすごく迫力があり、普段中々見ることができない貴重な経験でした。お忙しい中、取材をお受け頂きました大和板紙株式会社様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい！」「うちの取組みを紹介してほしい！」といった声があれば是非ご連絡ください。



【東大阪市版】

集団回収エコだより

今回はみなさんにご協力いただいております「集団回収対象品目」の一部が板紙にリサイクルされる過程を掲載しております。



工場見学（大和板紙株式会社）
～古紙再生施設を見学～

発行：東大阪市再生資源
集団回収推進協議会
会長 村田俊明



（事務局：環境部循環社会推進課）
〒577-8521
東大阪市荒本北1丁目1番1号
【TEL】06-4309-3199（直通）
【FAX】06-4309-3818
【E-mail】junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp
【ウェブサイト（集団回収）】
<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/000007784.html>

東大阪市 循環社会推進課 検索



市内活動団体取材しました

集団回収取組み紹介

～東大阪市明朗会さんの活動の様子～

東大阪市明朗会は、足代一丁目南自治会区域で活動する地域貢献団体です。毎月1回、新聞、雑誌などの古紙類のほか、アルミ缶とリターナブルびんの回収も行っています。

取材日当日は会員のみなさんが町内の各所に出された新聞やダンボール、アルミ缶などの資源を2時間ほどかけて集め、回収業者に引渡していました。

東大阪市明朗会では、平成26年の1年間に約118トンもの資源回収実績があります。資源の売却益や市からの奨励金は、自治会の会員にトイレトーパーやカレンダーを作成して配布したり、年末に餅つき大会を開催したりするために使われています。



～紙パックを利用した椅子づくり～

東大阪市明朗会が回収した紙パックの一部は、地域の老人会（豊寿会）に引渡され、紙パックを利用した椅子づくりに活用されています。

豊寿会で年間40個ほど作成された椅子は、敬老の日のプレゼントとして利用されており、使用される方の要望に合わせて高さを変えるなど工夫がほどこされています。



トピックス

工場見学



ご協力企業様「大和板紙株式会社」
〒582-0004 大阪府柏原市河原町5番32号
設立 昭和27年3月 従業員100名(H26現在)
TEL 072-971-1445
URL <http://www.ecopaper.gr.jp/daiwa/>



右のQRコードで
紙ができるまでの様子
をご覧ください



今回は新聞・雑誌・ダンボールから酒パックや化粧品の箱など「難処理古紙」といわれるものまで幅広い古紙をリサイクルしている大和板紙株式会社様へ見学に行きました。普段はなかなか見る機会がない、工場の裏側をご覧ください。



板紙が出来るまで

①排出 はいしゅつ

紙パック
機密書類
古紙類

家庭や事業者

②溶解 ようかい

水と一緒にあらゆる古紙を攪拌して溶かします

③精選 せいせん

原料から紙以外の異物などを取り除きます

スクリーン
ラミネートやアルミシートの除去

⑤仕上げ しあげ

ドライヤーで紙を乾燥させ、カッターで1枚のシートに仕上げます

完成した板紙
カッター
ドライヤー

④抄紙 しょうし

原料を網に抄き上げ、シートに成形する工程です

抄紙機
シリンダーバット